

ハンガリー・ジュール・フィルハーモニー管弦楽団

1846年、ジュール男声合唱協会が世界的に有名な指揮者ハンス・リヒターの父親リヒテル・アンタルによって設立される。1862年、ジュール声楽家・音楽協会 - ジュール・フィルハーモニー管弦楽団の前身 - となり、1894年、ジュール市民オーケストラ(ジュール・フィルハーモニー管弦楽団)が設立、1968年に社団法人化に伴い、オーケストラがプロ化。2008年7月、ゲーザ・フーケが楽団長に就任。2009年4月より芸術監督にカールマン・ベルケシュ(クラリネット奏者/指揮者)を迎えてから飛躍的な発展を遂げ、その変貌ぶりはハンガリーの他のオーケストラからも注目を集めた。2009年、映画音楽で知られるイタリアの作曲家エンニオ・モリコーネのヨーロッパ・アジアツアー(モリコーネ指揮)に参加。2016年にはフランス最大級のクラシック音楽の祭典、『2016ラ・フォル・ジュルネ新潟』と『2016ラ・フォル・ジュルネ東京』(KAJIMOTO主催)(指揮:カールマン・ベルケシュ、マールトン・ラーツ)に出演している。

2018年、創立50周年を迎える。これまで、指揮者ではアーダーム・メドヴェツキー、マリス・ヤンソンス、アルヴィド・ヤンソンス、イシュトヴァン・ケルテス、小林研一郎、ヤーノシュ・コヴァーチ、独奏者ではアニー・フィッシャー、コチシュ・ゾルターン、デジュ・ラーンキ、アンドラーシュ・シフ、ミクロシュ・ペレーニ、サラ・チャン、セルゲイ・ナカリヤコフ、キングズ・シンガーズらを迎え、聴衆を魅了してきた。録音においては、2018年に世界最大のレパートリーを誇るクラシック音楽レーベル、ナクソスから『ブラームス交響曲集(指揮:カールマン・ベルケシュ)』がリリースされている。

指揮 ベルケシュ・カールマン *Kálmán Berkes*



リスト音楽院にてクラリネットをB・コヴァーチ氏に師事。J・フェレンチク、G・パタネ両氏に指揮の指導を受ける。ジュネーヴ国際音楽コンクール・クラリネット部門でシルバメダル、ミュンヘン国際音楽コンクール・木管五重奏部門で第3位を受賞。1972年よりハンガリー国立歌劇場管、ブダペスト・フィル管、1983年よりブダペスト祝祭管の首席ソロクラリネット奏者を歴任。1987年からは指揮者としても活動を始め、1996年ハンガリー国立歌劇場管弦楽団常任指揮者に就任、2004年よりハンガリー国立フィル管の常任客演指揮者を歴任。これまでにパース、ブラハ、ブダペスト『春の祭典』等の著名な音楽祭、またオランダ放聲、ベネズエラ国立シモン・ポリバル響、イギリス室内管などにソリスト、指揮者として招聘されている。録音では、ナクソスのバルトーク:コントラソツがグラミー賞の室内楽部門にノミネート、ゴールドメダルを授与される。2009年よりハンガリー、ジュール・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督に就任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、バルトーク・パストリー賞、エールデメシュ・ムーヴェーセトゥ勲章を授与される。武蔵野音楽大学名誉教授。

Yuka Oyabu ピアノ 大藪 祐歌

東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業後、ハンガリー・リスト音楽院へ留学。留学中にはブダペストにおいて定期的にコンサートを行うほか、地方都市に招かれリサイタルを開催。また、イタリア・ローマのフェスティバルに招かれリサイタルを行うなど、ハンガリー、オーストリア、イタリアなど各地で演奏活動を行い、いずれも好評を得ている。主な受賞歴:第10回ヨハネス・ブラームス国際コンクール第2位受賞、第4回リスト=バルトーク国際ピアノコンクール第1位受賞。最優秀バルトーク演奏者賞、SEILER社賞受賞。2018年には沖縄タイムス社より芸術選奨奨励賞を受賞。現在、沖縄県立開邦高校芸術科、沖縄県立芸術大学非常勤講師。クラシックを通じた社会貢献を目指す団体、NPO法人音楽で「つながる」会 Caprice 代表を務めている。



ジュール市はハンガリーの首都ブダペストの西約100kmのところにある人口13万人の市。市街地の近くをドナウ川の支流とラーパ川が流れており、さらに100kmほど西進するとウィーンである。市の歴史は古く、旧市街地にはネオバロックやゴシックの建物が随所に残っている。

同市が誇る「ジュール・フィルハーモニー管弦楽団」には、沖縄出身のバイ



1898年に建造された美しいジュール市庁舎

オリン奏者ベルケシュ(砂川)亮子が在籍している。指揮者のベルケシュ・カールマンは彼女の夫だが、今回は二人にとって故郷への感謝を込めた初公演となる。ちなみに共演の大藪祐歌氏はリスト音楽院の卒業生で、指揮者の後輩にあたる。これを機に、ハンガリーと沖縄の交流がますます盛んになることを期待したい。